

八頭町町勢要覧

鳥取県



八頭町長
吉田 英人

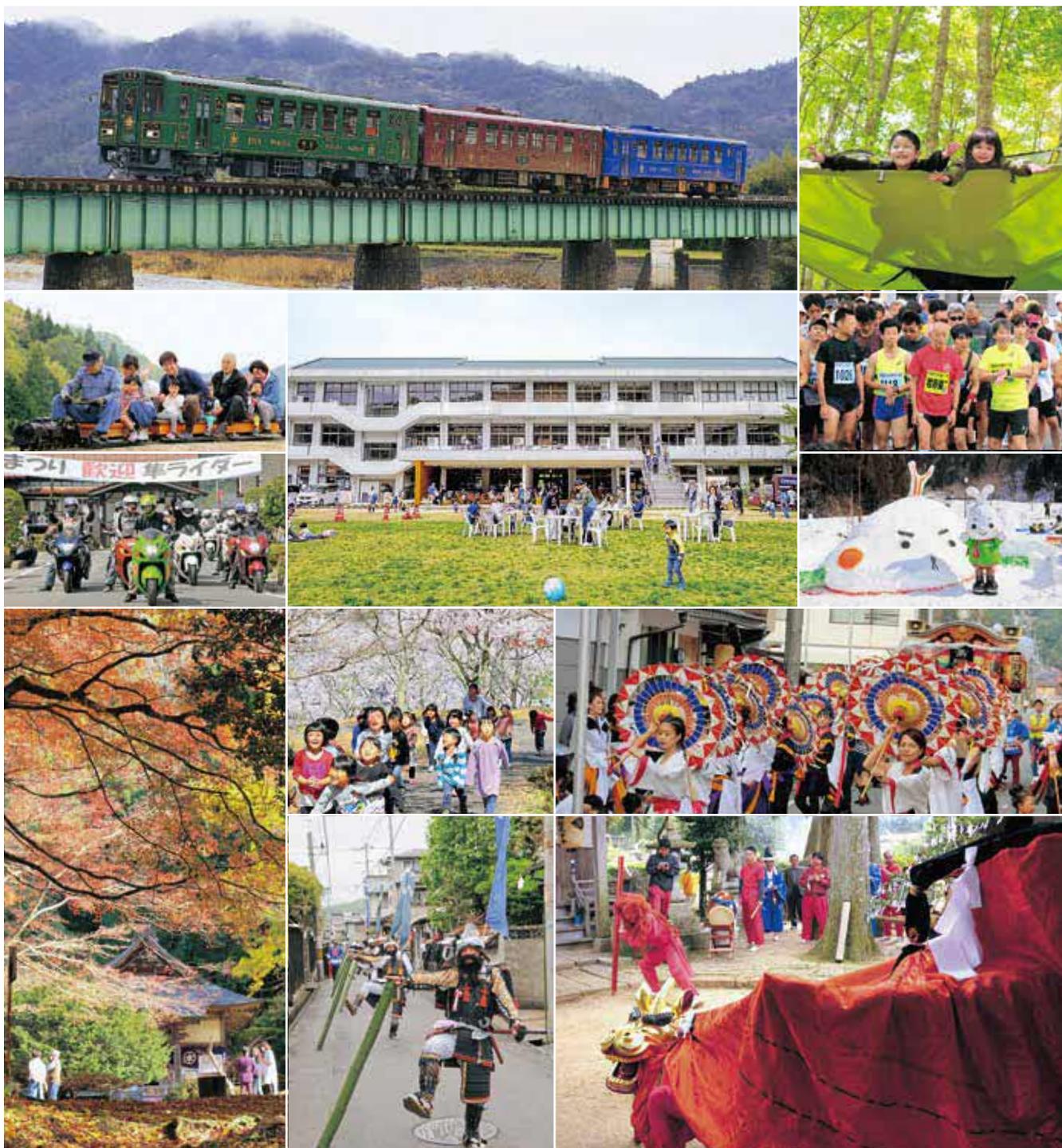
「豊かな自然とともに
みんなでつくる ふれあいのまち」

八頭町では、人口減少・少子高齢化が進展する中で、町の将来像「人が輝き未来が輝くまち八頭町」を目指し「第2期八頭町総合計画・後期基本計画」に7つの基本目標を掲げ、豊かな自然を活かした魅力のあるまちづくりを進めています。

そして、私たちが将来見据える「八頭町」は、どのような時代にあっても、希望を持ち、誰もが輝く存在であり続ける地域社会で、互いに信頼し、支え合える「共生のまち」の実現であります。

こうしたまちづくりを着実に進めるためには、まちづくりの原動力である町民の皆さん方をはじめ、地域や各種団体、事業者、さらには行政が一体となって「オール八頭」で取り組みが必要があると考えています。

このたび、本町の歴史や現状を分かりやすくまとめました。これをもとに町の姿勢や自然、歴史、文化、地域の取り組みなどを知っていただき、八頭町への理解を深めていただければ幸いです。



八頭町ってこんなところ

鳥取県の東南部に位置する郡家町、船岡町及び八東町の3町は、八東川流域として一体的な地域を形成し、歴史的・文化的にも深いつながりがありました。急速な少子・高齢化の進行や、国際化の進展など社会情勢が大きく変化する中、地方自治体の果たすべき役割は多様化、複雑化しています。このような状況の中、地方分権を推進し、行・財政運営の見直しやきめ細かい行政サービスを提供するため、平成17年3月31日に八頭町が誕生しました。東は若桜町、北及び西は鳥取市、南は智頭町にそれぞれ接しています。

基本DATA

総面積: 206.71平方キロ

人口: 16,412人

世帯: 6,137世帯

2021年12月末現在



人が輝き 未来が輝くまち

八頭町

「豊かな自然とともに
みんなでつくる
ふれあいのまち」

まちの将来像

人づくり、人権の尊重に重きをおき、住民すべてが健やかに、生きがいを持って暮らせるまち、一人ひとりがまちづくりの主役となり、個性が輝く、笑顔あふれるまちを目指します。

また、まちづくりの賑わいの創出、多様な地域との交流など、より広域的な視点でまちづくりを進めることで、無限の可能性を秘めた輝く未来への扉を開きます。

まちの将来像を実現する7つの柱

【基本目標】

まちの将来像「人が輝き 未来が輝くまち 八頭町」を実現するための、7つの柱を基本目標として位置づけ、それぞれに目的（目指す状態）と目標実現のための手段（基本施策）を設定しています。



住民が主役の まちづくり

町民一人ひとりが主体的にまちづくりに参画できる仕組みをつくり、町民相互の触れ合いと連帯感が高まる地域社会を構築します。

基本施策

- 住民参画社会の推進
- 人権尊重のまちづくり
- 男女共同参画の推進
- コミュニティ活動の推進
- 広域行政の推進



やすらぎと生きがいの あるまちづくり

子どもからお年寄り、障がいのある人など、すべての人がやすらぎを感じられ、いつまでも健康で生きがいの持てるまちづくりを推進します。

基本施策

- 健康づくりの推進
- 高齢者・障がい者福祉の充実
- 生きがいづくりの推進
- 子育て支援の充実



安心安全な 暮らしづくり

生活の基盤となる道路等の整備や災害に強いまちづくりなど、町民の皆さんが安心して安全に暮らせる取り組みを積極的に推進します。

基本施策

- 地域情報化の促進
- 道路・交通環境の充実
- 住環境の充実
- 地域防災・防犯体制の推進
- 消費者保護行政の充実





環境共生の まちづくり

自然エネルギーの活用やこみの減量化・再資源化等を進めながら、環境教育の推進など、住民意識の高揚に努めます。

基本施策

- 自然環境・景観の保全と活用
- 資源・エネルギー対策の推進



活力ある 産業づくり

地域資源を活かした農林業の振興に努めるとともに、既存産業の充実をもとより、企業誘致等により雇用の促進を図ります。

基本施策

- 農林水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 連携・交流の推進
- 雇用の促進



こころ豊かな 人づくり

青少年が、明るく、たくましく生きる力を身に付け、郷土を愛する心を育むとともに、幼児から高齢者までがいつでもどこでも学ぶことができるよう、生涯学習活動を推進します。

基本施策

- 学校教育の充実
- 社会教育の充実
- 生涯スポーツの推進
- 芸術・文化活動の推進
- 文化財の保護・保存



効率的で効果的な 行財政運営

健全な財政運営と町民に信頼される町政運営を基本に、透明性の高い行政経営システムの確立を目指すとともに、まちづくりの課題を町民と行政が共有し、互いに役割を果たしながら解決を図っていきます。

基本施策

- 健全で効率的な行・財政運営の推進



八頭町合併後の歩み

平成17年3月	那家町・船岡町・八東町が合併し、八頭町誕生①
平成17年12月	八頭町合併記念式典開催。町章、町民憲章、町の木・町の花決定
平成17年12月	八頭町・韓国横城郡交流協定調印②
平成17年12月	八頭町総合計画策定
平成18年9月	行財政改革の推進に向けて行政改革大綱を策定
平成18年10月	第1回森下広一杯八頭町マラソン大会開催
平成19年4月	八頭町商工会設立
平成20年7月	若桜鉄道関連施設23件が「国の登録有形文化財」に登録
平成21年4月	若桜鉄道が公有民営として全国初の上下分離方式に移行
平成21年8月	第1回牟婁まつり開催
平成22年4月	町営さんさんバス運行開始
平成22年10月	「関西八頭町会」設立
平成23年4月	CATVと光インターネットサービス開始
平成24年2月	「八頭町学校給食共同調理場」竣工
平成24年3月	八頭町地域福祉計画策定
平成24年5月	「八頭町文化協会」設立
平成24年7月	佐藤雅子選手がロンドンオリンピック(ホッケー)に出場
平成25年3月	「般県道河原インター線かわはら八頭フルツライン」全線開通③
平成25年4月	済美地区福祉施設開所(済美地区まちづくり委員会)
平成25年6月	安部地区福祉施設開所(安部地区まちづくり委員会)
平成25年6月	上私都地区福祉施設開所(上私都地区まちづくり委員会)
平成26年11月	「八頭町合併10年記念式典」開催
平成27年3月	第2次八頭町総合計画策定
平成27年3月	「那家駅コミュニティ施設(ふらっとびあ・やず)」竣工
平成27年4月	中私都・下私都・たから保育所を統合し、「那家東保育所」が開所
平成27年4月	中央・船岡・八東中学校を統合し、「八頭中学校」が開校
平成27年4月	若桜鉄道がSL走行社会実験を実施
平成27年7月	日韓交流10周年記念碑設置
平成27年9月	八頭町人口ビジョン・八頭町総合戦略を策定
平成28年2月	下私都地区福祉施設開所(下私都地区まちづくり委員会)
平成28年3月	隼ラッピング列車運行開始
平成28年4月	若桜鉄道車両を八頭町・若桜町が保有し、新たな上下分離方式へ
平成28年10月	大御門地区福祉施設開所(大御門地区まちづくり委員会)
平成28年11月	東郡家地区福祉施設開所(東郡家地区まちづくり委員会)



③



②



①

平成29年3月	中私都地区福祉施設開所(中私都地区まちづくり委員会)
平成29年4月	やずミニSL博物館「やずぼほ」竣工④
平成29年4月	町税や水道料等のコンビニ収納開始
平成29年4月	隼・船岡・大江小学校を統合し、新生「船岡小学校」が開校
平成29年4月	丹比・八東・安部小学校を統合し、新生「八東小学校」が開校
平成29年4月	船岡・隼・大江へき地保育所を統合し、新生「船岡保育所」が開所⑤
平成29年12月	隼地区福祉施設開所(隼地区まちづくり委員会)
平成29年12月	八頭イノベーションプロジェクト拠点施設「隼」竣工
平成30年3月	若桜鉄道観光列車「昭和号」デビュー
平成30年3月	大江地区福祉施設開所(大江地区まちづくり委員会)
平成30年6月	八頭町地域福祉推進計画策定
平成30年12月	こおげ花御所柿がGI(地理的表示保護制度)に登録
平成31年3月	若桜鉄道観光列車第2弾「八頭号」運行開始
平成31年3月	SBドライブと全国初の自動運転バス走行実験を実施
平成31年4月	丹比・八東・安部保育所を統合し、新生「八東保育所」が開所
令和元年8月	第50回記念隼プール祭開催
令和元年10月	町内小・中学校にエアコン整備完了
令和元年12月	八頭高等学校女子ホッケー部が初の全国制覇
令和2年3月	第2次八頭町総合計画(後期基本計画)・第2期総合戦略策定
令和2年3月	町営バスのデザインを一新・名称を「やずバス」改称⑥
令和2年3月	若桜鉄道観光列車第3弾「若桜号」運行開始
令和2年3月	八東駅行き違い施設供用開始
令和2年4月	丹比地区福祉施設開所(丹比地区まちづくり委員会)
令和2年7月	八東地区福祉施設開所(八東地区まちづくり委員会)
令和2年10月	中私都グラウンドの全面芝生化が完成
令和2年12月	若桜線全線開通90周年記念感謝祭を開催
令和3年2月	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス利用開始
令和3年3月	船岡地区福祉施設開所(船岡地区まちづくり委員会)
令和3年4月	国のGIGAスクール構想本格始動
令和3年5月	東京2020オリンピック聖火リレー開催
令和3年8月	八頭中学校男子ホッケー部が県勢初の全国制覇
令和3年10月	第9回プラチナ大賞「優秀賞・未来の田舎賞」を受賞
令和3年11月	那家西小学校及び那家東小学校が創立40周年記念式典を開催



⑥



⑤



④

YAZU TOWN MAP



Topography 地勢

八頭郡の中央部に位置し、7世紀に成立した因幡国の最大の郡である八上郡がありました。鳥取県の一級河川千代川に注ぐ最大の支流である八東川流域として、古来より交通の要所として栄え、現在も社会・経済の基盤をなしています。八東川流域には帯状に耕地が開け、稲作を中心に梨・柿・りんごなど果樹栽培も盛んに行われています。

Culture 伝統・文化

「因幡・但馬の麒麟獅子舞」が令和元年5月に日本遺産に認定、令和2年3月には、国重要無形文化財に指定されました。その舞いは、地域の安寧を願い、受け継がれ、人々に幸せを分け与えています。県の無形民俗文化財に指定されている「澤神社の麒麟獅子舞」、江戸時代前期から続き、榊・御轆・神輿などが練り歩く「下船岡神社神幸祭」、江戸時代後期に農業用水路を築き地域の水不足を救った安藤伊右衛門翁をしのぶ「安藤祭」などの伝統芸能があります。

Climate 気候・四季



年平均気温は13.2℃。年降水量は約2000mmで、梅雨・冬期と年間を通じて豊富です。春・秋は比較的温和で、夏は台風などの自然災害が少ないため、気候条件に恵まれています。冬は季節風の影響で平野部でも100cmに届くような大雪となる年もありますが、四季の移ろいは農作物を潤すとともに私たちの五感を楽しませてくれます。

Landscape 原風景



『懐かしい風景を走る、笑顔と笑いが生まれる、新しく懐かしい鉄道の旅を演出する』をコンセプトにデザインされた「昭和号」「八頭号」「若桜号」は、昭和初期の原風景の面影を残す沿線を、今日も美しく駆け抜けています。若桜鉄道は、地域の宝として、全線開通100年を目指しています。

Fruit 特産品（フルーツ）



清らかな水と肥沃な土壌によって育った農作物は、私たちに食す楽しさと健やかな日々を届けてくれます。梨、柿、りんご、ぶどうなど、秋は町中フルーツ色に染まります。中でも日本一の甘柿と呼ばれる「こおげ花御所柿」は、200年以上前から栽培されており、GI(地理的表示保護制度)にも登録されています。

町章



八頭町(やずちょう)の「や」の文字で、人々が集い自然と調和して暮らす町をデザイン化。羽ばたく鳥の姿で自然との一体感や大空に夢が広がる町の明るいイメージを表し、八頭町の飛躍を象徴したものである。

町民憲章

- 健康で明るい家庭を築きます。
- たがいに声をかけあい、誰にも親切にします。
- 思いやりと感謝の心で、人を大切にします。
- 力をあわせ住みよいまちをつくります。

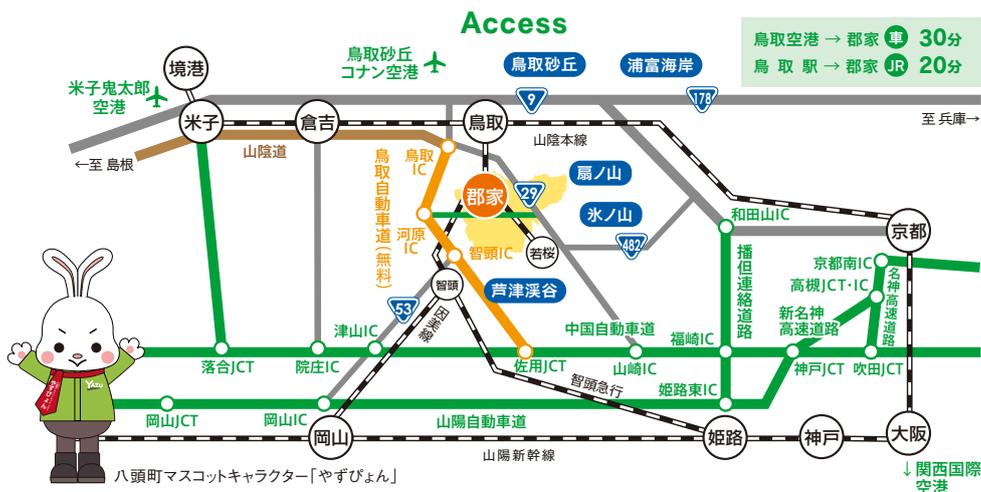
町の木 町の花



町の花: さつき



町の木: 柿



飛行機 ✈️

Airplane

東京～鳥取 約1時間15分 【全日空(ANA)】

自動車 🚗

Car

大阪～郡家 約2時間20分
【大阪(中国自動車道) 山崎IC～R29～八頭】

鉄道 🚆

Railway

大阪～郡家 約2時間20分 【特急スーパーはくと】
岡山～郡家 約1時間30分 【特急スーパーいなば】

大阪～郡家 約2時間10分
【大阪(中国自動車道) 佐用JCT～河原IC～船岡IC～八頭】

岡山～郡家 約2時間20分
【岡山～R53～(鳥取自動車道) 智頭IC～河原IC～八頭】

高速バス 🚌

Bus

大阪～鳥取 約3時間00分 【日本交通高速バス
(なんば便、梅田便)】

鳥取県八頭町

〒680-0493 鳥取県八頭郡八頭町郡家493番地
Tel.0858-76-0201(代) Fax.0858-73-0147(代)

<https://www.town.yazu.tottori.jp>